



平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 大澤 弘毅

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	2,629	6.6	448	29.9	451	31.1	297	38.5
29年12月期第2四半期	2,466	8.5	345	3.1	344	5.0	214	1.1

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 296百万円 (37.9%) 29年12月期第2四半期 214百万円 (5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	30.80	
29年12月期第2四半期	22.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	4,200	3,335	79.4	345.31
29年12月期	3,916	3,107	79.3	321.65

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 3,335百万円 29年12月期 3,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		7.00	7.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	7.8	800	17.1	800	16.9	507	16.8	52.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	10,242,000 株	29年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	582,237 株	29年12月期	582,237 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	9,659,763 株	29年12月期2Q	9,659,763 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成30年8月22日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に雇用・所得環境の改善の動きが広がっております。一方で、物価の上昇や個人消費の停滞感、海外情勢の影響及びわが国の地政学的リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続いております。当社事業と関連性が高い国内証券市場においては、昨年末から世界的な株高傾向が続いており、投信市場においては純資産総額の増加傾向は継続しております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、投資情報事業、ドキュメントソリューション事業、ファンドディスクロージャー事業の主要3事業において順調に業績を伸ばしております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,629百万円(前年同期比162百万円増、6.6%増)、営業利益は448百万円(前年同期比103百万円増、29.9%増)となりました。また、経常利益は451百万円(前年同期比107百万円増、31.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は297百万円(前年同期比82百万円増、38.5%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツが好調で業績をけん引するとともに、大手証券会社向けレポート作成システムの機能追加、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタル・アイニュース』も堅調に推移しております。

その結果、売上高は646百万円(前年同期比36百万円増、6.0%増)、営業利益は266百万円(前年同期比30百万円増、12.8%増)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

金融法人における証券レポートの印刷・配送につきましては受注量の微減が続いておりますが、生命保険関連の印刷物を中心に売上を伸ばしております。また連結子会社の株式会社東京ロジプロの配送サービスは順調に売上を伸ばしております。一方で連結子会社である株式会社アイコスの翻訳/通訳サービスについては、苦戦を強いられております。

その結果、売上高は640百万円(前年同期比44百万円増、7.4%増)、営業利益は43百万円(前年同期比4百万円減、9.0%減)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場全体の純資産総額は増加傾向に鈍化がみられますが、国内株式型やバランス型の投資信託を中心に好調に推移しており、これらの影響により投資信託関連の印刷受注量を伸ばしております。また、確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービスについては、確定拠出年金運営管理機関向け文書管理システムの開発案件が好調のため業績に寄与しております。

その結果、売上高は993百万円(前年同期比146百万円増、17.3%増)、営業利益は261百万円(前年同期比43百万円増、20.1%増)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、働き方改革などの環境要因の影響を受け勤怠関連システムの受注が好調に進捗しております。前第2四半期連結累計期間に大型案件が計上されたため前年同期比で売上額が減少しておりますが、開発の生産性向上などにより収益性は向上し増益となっております。またマイグレーションサービスについても、受注案件の進捗は順調に推移しており増益に寄与しております。

その結果、売上高は347百万円(前年同期比57百万円減、14.2%減)、営業利益は50百万円(前年同期比15百万円増、46.5%増)となりました。

<その他事業>

「データ化サービス」などの提供を推進しておりますが、事業拡大に苦戦を強いられております。

その結果、売上高は1百万円(前年同期比6百万円減、82.4%減)、営業損失は1百万円(前年同期は営業損失10百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ284百万円増加し、4,200百万円となりました。

流動資産合計は336百万円増加し、3,387百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が301百万円増加したことに加え、仕掛品が96百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は51百万円減少し、812百万円となりました。主な要因は、のれんの償却により29百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、865百万円となりました。

流動負債は60百万円増加し、743百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が48百万円増加したことによるものであります。

固定負債は4百万円減少し、121百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ228百万円増加し、3,335百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益297百万円の計上による増加と、剰余金の配当67百万円による減少であります。

<キャッシュ・フローの状況の分析>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ300百万円増加し、2,699百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、取得した資金は392百万円(前年同期は332百万円の取得)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益451百万円、売上債権の減少額107百万円であります。また、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額96百万円、仕入債務の減少額19百万円、法人税等の支払額100百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は24百万円(前年同期は16百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出17百万円、有形固定資産の取得による支出8百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は67百万円(前年同期は62百万円の支出)となりました。支出は全額、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月27日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,897	2,750,292
受取手形及び売掛金	473,615	423,615
仕掛品	50,182	146,614
その他	78,951	67,445
流動資産合計	3,051,646	3,387,968
固定資産		
有形固定資産	72,271	68,905
無形固定資産		
のれん	401,834	372,628
ソフトウェア	65,694	79,168
その他	21,775	1,649
無形固定資産合計	489,305	453,447
投資その他の資産	302,977	290,310
固定資産合計	864,554	812,662
資産合計	3,916,201	4,200,631
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,678	206,981
未払法人税等	112,818	160,826
賞与引当金	18,021	17,648
その他	325,041	357,948
流動負債合計	682,559	743,404
固定負債		
退職給付に係る負債	16,505	11,545
その他	110,074	110,074
固定負債合計	126,580	121,619
負債合計	809,139	865,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	2,352,553	2,582,407
自己株式	△77,928	△77,928
株主資本合計	3,095,444	3,325,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△182	△318
為替換算調整勘定	11,798	10,626
その他の包括利益累計額合計	11,616	10,307
純資産合計	3,107,061	3,335,606
負債純資産合計	3,916,201	4,200,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,466,314	2,629,216
売上原価	1,459,785	1,531,826
売上総利益	1,006,528	1,097,389
販売費及び一般管理費	661,147	648,617
営業利益	345,381	448,771
営業外収益		
受取利息	818	663
受取配当金	157	177
持分法による投資利益	467	1,514
助成金収入	—	1,500
その他	398	453
営業外収益合計	1,842	4,308
営業外費用		
支払利息	8	—
為替差損	2,410	1,091
その他	17	8
営業外費用合計	2,435	1,099
経常利益	344,788	451,980
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事務所移転費用	8,950	—
特別損失合計	8,950	0
税金等調整前四半期純利益	335,838	451,980
法人税、住民税及び事業税	110,831	151,601
法人税等調整額	10,166	2,906
法人税等合計	120,997	154,507
四半期純利益	214,840	297,472
親会社株主に帰属する四半期純利益	214,840	297,472

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	214,840	297,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	△136
持分法適用会社に対する持分相当額	△149	△1,171
その他の包括利益合計	△88	△1,308
四半期包括利益	214,751	296,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214,751	296,164

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	335,838	451,980
減価償却費	29,937	27,362
のれん償却額	29,206	29,206
賞与引当金の増減額(△は減少)	△313	△372
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	326	△4,960
受取利息及び受取配当金	△976	△840
支払利息	8	—
持分法による投資損益(△は益)	△467	△1,514
移転費用	8,950	—
売上債権の増減額(△は増加)	119,659	107,202
たな卸資産の増減額(△は増加)	49,247	△96,431
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,382	△19,696
未払又は未収消費税等の増減額	3,748	3,913
その他	△18,234	△23,960
小計	516,548	471,888
利息及び配当金の受取額	1,641	1,490
利息の支払額	△8	—
移転費用の支払額	△6,496	—
法人税等の支払額	△179,093	△100,949
法人税等の還付額	—	20,184
営業活動によるキャッシュ・フロー	332,591	392,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,849	△8,001
無形固定資産の取得による支出	△9,783	△17,681
投資有価証券の償還による収入	22,901	83
差入保証金の差入による支出	△1,400	—
差入保証金の回収による収入	13,112	—
保険積立金の解約による収入	890	—
貸付金の回収による収入	—	2,000
定期預金の預入による支出	△600	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,730	△24,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	—
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
配当金の支払額	△62,788	△67,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,788	△67,618
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	253,072	300,794
現金及び現金同等物の期首残高	1,971,537	2,398,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,224,610	2,699,279

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメントソ リューション事業	ファンド ディスク ロージャー事業	I T ソリ ューション事業				
売上高								
外部顧客への売上高	609,645	596,059	847,182	405,483	7,943	2,466,314	—	2,466,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,418	—	11,581	—	22,000	△22,000	—
計	609,645	606,478	847,182	417,064	7,943	2,488,314	△22,000	2,466,314
セグメント利益又は損 失(△)	235,920	47,550	217,975	34,150	△10,833	524,762	△179,380	345,381

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△179,380千円には、セグメント間取引消去△507千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△178,873千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメントソ リューション事業	ファンド ディスク ロージャー事業	I T ソリ ューション事業				
売上高								
外部顧客への売上高	646,325	640,071	993,592	347,830	1,397	2,629,216	—	2,629,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	11,155	—	24,734	—	35,889	△35,889	—
計	646,325	651,226	993,592	372,564	1,397	2,665,106	△35,889	2,629,216
セグメント利益又は損 失(△)	266,192	43,264	261,824	50,014	△1,742	619,552	△170,780	448,771

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△170,780千円には、セグメント間取引消去△267千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△170,513千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。